

令和2年度 保育研究合同発表会

(福井市・仁愛女子短期大学幼児教育学科 合同発表会)

幼児教育学科 准教授 増田 翼

これまで本学幼児教育学科では、発表会などを通じて学生の学習成果を広く発信してきました。また昨年度(2019年度)からは、包括連携協定を結んでいる福井市との協働による「保育研究合同発表会」を開催するなどして、学生の学習成果と現場保育者の研究成果を互いに発表し合い、学びを深める場づくりにも取り組んできました。

残念ながら2020年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2019年度と同様の会場参加型「保育研究合同発表会」の開催は難しく、一時は中止も検討されました。しかし、福井市子育て支援課の先生方と何度も協議を重ねるなかで、学習成果・研究成果をWeb上(YouTubeチャンネル)において

動画公開するという代替案が浮上し検討することとなりました。実際の動画公開までには、動画作成の方法、YouTubeチャンネルの構成、視聴後アンケートの項目など検討課題が様々ありましたが、挑戦してみると種々の発見もあり、最後まで大きなトラブルもなく公開期間を終えることができました。

公開期間中は、「教育・保育の質の向上に向けて共に学びあおう」をテーマに、このYouTubeチャンネル上における発表会を、視聴者自らが学びを深める場、ならびに学生と現場保育者がお互いにその学びを共有する場、として位置づけたほか、アンケートによる相互評価も行いました。実施内容の詳細と実際のYouTubeチャンネル画面(図1、図2)は以下の通りです。

- 公開期間：2021年2月1日(月)～2月12日(金)
- 内 容・福井市および仁愛女子短期大学からのメッセージ
 - ・福井市公立園の研究成果と課題発表
 - ・研究指定園指導者によるコメントおよび学生や現職者へのメッセージ
 - ・仁愛女子短期大学幼児教育学科2回生「保育総合ゼミナール」学習成果発表



図1 2020年度 保育研究合同発表会 YouTube チャンネル



図2 YouTube チャンネル 幼児教育学科「保育総合ゼミナール」

公開期間中に協力を呼びかけたアンケート（Google フォーム）の回答は、全体でおおよそ 400 名以上の方々から集まりました。その内訳を見ると、福井市公立園勤務の保育者（職員）、本学幼児教育学科1・2回生のほかにも、自治体等保育行政関係者、保育者養成校教員、さらには短大ホームページ経由で YouTube チャンネルにアクセスいただいた一般来場者など、様々な方々にご視聴いただいた模様で、学習成果および研究成果を広く発信することができたと考えています（さらに、本学幼児教育学科への入学を予定している高校3年生にも「入学前教育」の一環として視聴を呼びかけました）。

なお、アンケート結果のなかでも、特に福井市公立園勤務の保育者（職員）を中心に尋ねた2つの項目について、以下に報告しておきたいと思います（有効回答数 199）。まず、これまでも会場参集型で実施されてきた現場保育者の研究成果発表の場が YouTube チャンネル上に代替され、各自が自宅等で視聴するという形態に変わったことについて、5点満点で尋ねたところ、その平均値は 4.0 でした（図3）。この結果をどのように解釈すべきか即答はできませんが、回答者になぜその点数をつけたのか理由を尋ねた自由記述には、「YouTube で研究発表をみたため何度でも見返せたのが良かった」「紙面だけで見るよりよくわかるし、全部目を通せる」「都合の良い時を選んで視聴できた」などと書かれているこ

とからも、おおむね好意的に受け止められたのではないかと思います。ただし、「内容について質問できない」「発表に対する意見のやり取りができにくく反応が読み取りづらい」「提示物の内容などをじっくりと見られず、詳細が伝わりにくい」といった意見も散見されることから、学びを深めていく（相互に高め合う）という点に課題があるといえるかもしれません。

もう一つ、「合同発表会の開催形態について、あなたの考えは以下のどれに一番近いですか？」という質問項目に対しては、図4のように、コロナ終息後は会場参集型の対面開催支持が 17.6%で、残り 80%以上の方々は Web 開催支持（Web のみ開催支持が 56.3%、Web と一部対面の併用支持 24.6%）という結果となりました。もしかすると現場保育者の「オンラインニーズ」はかなり高いのかもしれません¹⁾。

次年度以降、学びを深めたり高め合ったりするという「保育研究合同発表会」の趣旨を追求しつつも、コロナ感染予防ならびに「オンラインニーズ」の実態などを踏まえながら、開催形態について福井市と協議を重ねていく予定です。また、アンケートの実施方法についても「事前にアンケートの内容がわからず何回も見直さなければいけなかった」などの課題が挙げられたので改善していきたいと思います。

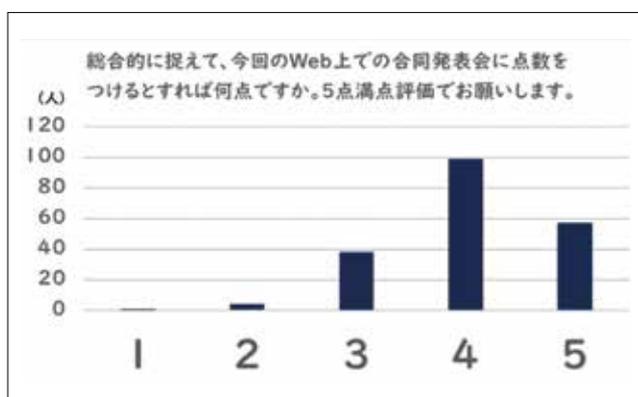


図3 今回の合同発表会に対する評価 (5点満点評価)

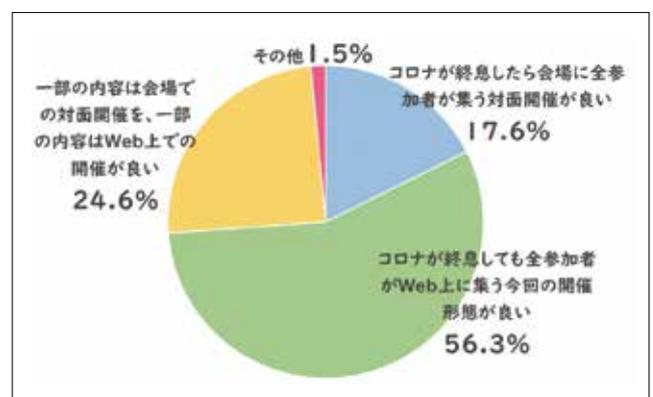


図4 今後の合同発表会の開催形態について

【註】

- 1) 2020 年度に本学の教員免許状更新講習を受講されたの方々を対象としたアンケート結果においても、「今後の講習形態」として「対面支持」6.2%、「オンラインのみ」31.0%、「対面とオンライン」62.8%となっており、やはり「オンラインニーズ」が高い傾向となっています（仁愛女子短期大学ブランディング推進室編『2020 年度 成果報告書』2021 年3月、146 頁）。